

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2011年4月～2012年3月

国名：日本

※今年度の年次報告書は担当者の名前やメールアドレスなどは伏せた形で冊子やHP上で公表する可能性があります。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 担当者

—

2. 学校概要

学校名 新潟市立下山小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒950-0069

新潟市東区太平2丁目18番地

E-mail : e207shitayama@city-niigata.ed.jp

Website : http://www.shitayama-e.city-niigata.ed.jp/

児童生徒数：男子 393名 女子 326名 合計 719名

児童・生徒の年齢 6歳～12歳

3. 実施活動（下記から選択し、ESDについては活動した分野に○をして下さい。）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
 持続発展教育 (ESD) (国際理解 世界遺産 平和・人権 環境 気候変動
生物多様性 エネルギー 防災 食育 伝統文化 そのほか (福祉 キャリア))
 そのほか ()

4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

- 1年生 「昔からの遊び」
地域のお年寄りから昔の遊びを学び、楽しく遊ぶ。
- 2年生 「校区内探検」
校区内を探検し、地域よさに気付くとともに、調べたことを発表する。
- 3年生 「大好き！下山 地域編 ～発見・冒険じゅんさい池～」
地域の誇れる「じゅんさい池公園」について詳しく調べ、そのよさを発信する。 環境教育
「大好き！下山 地域編 ～下山の「やわ肌ねぎ」調査隊～」
地域の名産「やわ肌ねぎ」の収穫や農家の方との交流を通し、わかったこと、考えたことを発表する。 食育
- 4年生 「世界の国からこんにちは」 国際理解教育
校区内で歩いていくことができる場所にある新潟空港を見学することにより、世界とつながる新潟を意識し、世界へ目を向ける。また、新潟空港から発着のある国やお話を伺った国の中から興味をもった国について、日本と異なる点を意識しながら調べ、日本のよさや外国のよさに気付く。
「1/2成人式を祝おう」 キャリア教育
新潟空港で働いている人から仕事について話を聞き、生き方に触れ、自分の将来の夢や生き方について考える。
- 5年生 「ボランティア初めの一步」 福祉教育
「伝統は私たちが受け継いで」 キャリア教育
6年生のよさに気付き、その活動を引き継ぐとともに、下の学年の子どもたちのお世話役としての立場の理解と実践を進める。
- 6年生 「伝えよう 佐渡のすばらしさを」 環境教育 伝統文化
体験教室で行く佐渡のよさを調べ、発信する。
「ボランティア初めの一步パート2」 福祉教育
「感謝の心を表そう」 キャリア教育
- 全校 「やさしさの花」
大人、同学年、上の学年、下の学年など、様々な人とのかかわりを大切にし、あいさつなど、基本的なことを通して、思いやりの心をはぐくむ。
「縦割り班で遊んじゃおう」「全校縦割り遠足」
同学年だけでなく、上・下の学年（ナナメの関係）を大切に活動意識して行い、思いやりの心をはぐくむ。

活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用 ユネスコクラブの活動として実施
- その他（ ）

今年度の活動結果について（下記から選択して下さい。）

- 大変効果的な活動ができ、大変満足。 効果的な活動ができ、満足。
- 効果的な活動ができず、やや不満が残る。

どのように活動を学校のプログラムに盛込んだか記載願います。

- ・総合的な学習の時間で取り組む活動の中で、ユネスコスクールの内容に合うものをより大事にして、児童に意識付けながら取り組んだ。

今までの活動の中で、教育の質の向上に効果のあった活動がありましたら、記載願います。

例として

- ・“1年生 「昔からの遊び」地域のお年寄りから昔の遊びを学び、楽しく遊ぶ。”では、地域の方から文化を伝承してもらった。
- ・“3年生 「大好き！下山 地域編 ～下山の「やわ肌ねぎ」調査隊～ 」”では、地域の農家の方とともにねぎを収穫し、そのねぎを使った料理を給食の食材に使用した。また農家の方に学校にきていただき、給食で試食会をし、交流した。
- ・“5年生 「ボランティア初めの一步””では、福祉センターの方を招いて、車いす体験や高齢者擬似体験をしたり、盲導犬と共に暮らしている方を招いてお話を聞いたりした。

このように、専門的な知識をもっている人とのふれ合いを通して、体験的に学んでいく活動は、特に教育の質の向上に効果があったと考える。

活動の内容を補完する以下の資料があれば添付願います。

- 紙媒体の参考資料（新聞、出版物など） CD-ROM 写真
- その他（ ）

以下につきましては、該当する取組を実施した場合のみ
記載をお願いします。

- 実施テーマにおける教材の工夫や授業手法における工夫。

前述したように、専門的な知識をもっている人とのふれ合いを通して、体験的に学んでいく活動は、特に教育の質の向上に効果がある。できるだけ、ゲストティーチャーを招いて活動できるような授業手法をとることを心掛けている。

- 実施テーマに関連した研究旅行の実施。

- 他国の学校との交流や相互協力の実施。(交流した国、学校名の記載もお願いします。特に相手校が ASP ネットワークに参加している場合は、その旨も記載願います。)

- 国連やユネスコが取り組む国際的な記念日、国際年、国際的な10年を記念する取組の実施。(国際母語の日、国際天文年、識字の10年など)